

市議会だより

大月市

令和6年5月31日発行 No.174

鮎の放流（葛野川／宮古橋付近）

CONTENTS

- ・ 令和6年第1回（3月）市議会定例会
（主な議案の内容）…………… P. 2～
- ・ 予算審査特別委員会…………… P. 4～
- ・ 議決結果等一覧表…………… P. 6～
- ・ 代表質問／一般質問…………… P. 8～
- ・ 議会日誌…………… P. 16

こんな事が決まりました

2月26日～3月21日（25日間）

今定例会の議案



市長提出

● 条例案件	17件
● 当初予算案件	8件
● 補正予算案件	4件
● その他の案件	2件
● 人事案件	3件
● 報告	1件

主な議案の内容

条例

◎大月市子ども家庭総合支援センター条例中改正の件

子ども家庭総合支援センターは本庁舎に移転しました

・児童館機能は大月市総合福祉センターに残し指定管理者による管理を行います。



◎大月市手数料条例中改正の件

・戸籍謄本等の広域交付等に係る手数料を定める必要があることから改正を行いました。

予算（補正）

◎令和5年度 大月市一般会計補正予算（第8号）

◆歳入

○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
1億2,842万3千円

◆歳出

○物価高騰対応重点支援金
事業
9,379万7千円

予算（当初）

◎令和6年度 大月市一般会計予算・特別会計予算・事業会計予算については、予算審査特別委員会ページ（P4～P5）をご覧ください。

人事

◎大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件

・矢嶋千鶴委員の任命に同意。

◎大月市固定資産評価審査員の選任について同意を求める件

・横瀬政弘評価員の選任に同意。

◎大月市恩賜県有財産保護財産区管理会委員の補充選任について同意を求める件

○恵能野外4、二又恩賜県有財産保護財産区管理会

・久根口覚委員の選任に同意。

○ほつくそ外16恩賜県有財産保護財産区管理会

・上條正委員の選任に同意。

常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

令和5年度一般会計補正予算について（企画財政課）

Q ふるさと納税の最終的な確定額は。

A 6億4,000万円ほどの見込みがたつたことから、ここで4,000万円分を増額したということです。

Q 4,000万円へ増額となった主な理由は。

A シヤインマスカットの出荷内容を増量したことに伴います寄附金の増ということになります。

Q 財政調整基金の見込みは。



A 決算を組んでみないと分らないですが、補正後の財政調整基金は、残高見込みで、12億5,000万円ほどになります。

Q ふるさと納税増額分に對して、返礼品が1,900万円あるという理解でいいか。

A その通りでありまして、寄附金に対して係る経費が大体5割を切らないといけないという制限がありまして今整理をしています。

●社会文教常任委員会

大月市ひとり親家庭医療費助成に関する条例について（子育て健康課）

Q DV防止法の改正に伴った条例改正だが、現状で身体的DVについて相談の件数はどの程度か。

A 令和5年度で、新規の相談はありませんでした。過去に承知している案件としましては、やはり配偶者からの暴力を受けたことにより、別の場所に移動されてそこで母子で生活をしているというような案件があります。配偶者からの暴力ということとでセンターのほうで相談を受けるような体制は整っております。

Q 8008番という相談ダイヤルに電話をする、基本的には女性相談所に繋がる。時間帯、

日程によって、ぴゅあ総合に連絡が入ると思うが、その際の連携は図られているか。また、電話番号の周知も図られているか。

A 秘匿をしている部分もあるかと思いますが、今確認が取れていないところもありますが、該当があつた場合には、センターには必ず連絡が入るような体制にはなっていると認識しております。相談ダイヤルの周知については具体的にはどのようになっているかは把握していませんが、啓発カードが名刺大の大きさであつたり、お手洗いなどの目のとまりやすい場所に配置していたりなど、対応をしていると思っております。

Q DV相談ナビだが、そこに連絡すると最寄りの自治体の相談所に繋がる。県のホームページ



A ジの中では、女性の権利の関係や最寄りの自治体の連絡先として、大月市の担当所管が書かれている。こういうダイヤルがある事も含めて改めて周知を図っていたきたい。

A なるべく多くの目につくよう、周知の方法を話していきたいと考えております。

令和6年度当初予算を可決



委員長

あきゆき
たなもと
梶本 晃行



副委員長

こうき
すずき
鈴木 康揮

令和6年度予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

令和6年第1回（3月）

市議会定例会開会日に、委員12人で構成する令和6年度予算審査特別委員会が設置され、本委員会に議案第18号「令和6年度大月市一般会計予算」から議案第25号「令和6年度大月市下水道事業会計予算」まで、8

件の予算案件が付託されました。付託された8案件を審査するため、3月14日、15日、18日の3日間、委員会を開催いたしました。

予算全体の概要並びに各課別の予算内容について、教育長及び部長等出席のもと、担当課長等から説明を受け、慎重審査を行い、採決を行った結果、議案第19号「令和6年度大月市大月短期大学特別会計予算」から議案第2号「令和6年度大月市介護サービス特別会計予算」まで、及び議案第24号「令和6年度大月市簡易水道事業会計予算」並びに、議案第25号「令和6年度大月市下水道事業会計予算」までの6会計については全会一致で、議案第18号「令和6年度大月市一般会計予算」及び議案第23号「令和6年度後期高齢者医療特別会計予算」については、賛成多数でいずれも可決すべきものと決しました。

数でいずれも可決すべきものと決しました。

予算審査の過程におきましては、各委員から多くの意見等が出されました。そのうち、主なものを3点ほど申し上げます。

1点目は、行財政運営についてであります。人口減少、高齢化の進展に伴う財政構造の硬直化など、財政運営は一層厳しさを増すことが見込まれる中、財源の確保に努めながら、常に危機感と問題意識を持ち、事務事業の見直しや無駄を省いた事務の効率化に取り組む、より効果的、効率的な行財政運営の推進を図っていただくとともに、市民の利便性の向上、より市民の視点に立った、正確かつ親切、丁寧な行政サービスの充実を要望します。

2点目は、防災対策についてであります。今後想定

される大規模な災害に対し、地域防災計画の見直しを進めることを含め、必要な防災対策に着実に取り組んでいただきたい。

3点目は、公有財産の利活用についてであります。

市が保有する土地については、売却や賃貸等を含めた更なる利活用策の検討を、公共施設については、市民生活の向上や地域活性化につながる有効活用、運営改善を、学校用地については、閉校跡地等も含めた適正な管理と跡地の活用を要望します。

令和6年度 大月市一般会計予算 令和6年度 大月市後期高齢者医療特別会計

に対する討論

◆反対討論（要旨）

藤本 実 議員

令和6年度一般会計予算は、5年先10年先を見据えたものでなくてはならないと思います。私が反対するのは、一つは小中学校給食費の完全無償化を計上しなかったこと。二つは、人口減少に伴う課題に正面から取り組んでいないこと、人件費増などを基金取り崩しで安易に対処しようとしていることなどに同意しないからです。

◆賛成討論（要旨）

鈴木 基方 議員

厳しい財政状況の中で重点目標に掲げた「子育て少子化対策」としての「学校ICT事業」や、「市内事業者の産業振興対策」としての「小規模事業者経営支援事業」など、メリハリのついた予算となっています。

物価上昇の煽りを受け、固定経費の財源確保が難しい中でも、市民サービスを維持するための努力が感じられます。

主な予算の使い道が決まりました



【事業名】 五ヶ堰水路全線調査及び計画策定事業
 【事業費】 5,500 万円
 【内 容】 地域の農業用水路や生活用水路として 300 年以上利用されてきた五ヶ堰水路は、施設の老朽化が著しく各所で漏水や陥没等の報告がある。今後に向けて、水路全線の施設台帳の整備と、長寿命化計画を策定していく。



【事業名】 初狩地区子育て応援施設整備事業
 【事業費】 2,687 万 2 千円
 【内 容】 子供の安心・安全を考え、老朽化した公立初狩保育所の整備を進める。また、学童クラブ「たきご」との複合的な施設とし、利便性向上や経費削減、保小連携などを強化・推進していく。
 ・事業費の主な経費
 設計・測量業務委託 その他経費



【事業名】 市政 70 周年記念式典事業
 【事業費】 1,054 万 1 千円
 【内 容】 市政施行記念日の 8 月 8 日、市民会館において 70 周年記念式典を行い、市政功労者表彰、叙勲、勲章などの受賞者の功績を顕彰する。また、年間を通して各種イベントを実施していく。
 ・自衛隊ふれあいコンサート
 ・大月市文化祭 他



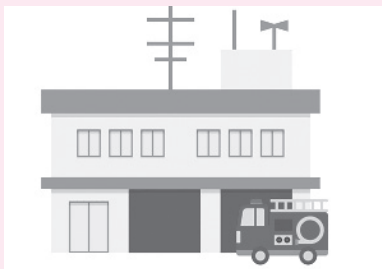
【事業名】 小規模事業者経営支援事業
 【事業費】 125 万円
 【内 容】 小規模事業者の経営課題は、専門性が高く多岐にわたっている。そこで、大月市商工会へ補助金を交付して、課題解決のため専門家派遣事業を実施することで、経営を間接的に支援していく。



【事業名】 ふるさと教育推進事業
 【事業費】 906 万 9 千円
 【内 容】 相談員等を配置した教育支援室を設置して、ふるさと教育各事業の実施や就学、不登校などの相談や指導、支援を行っていく。
 ・大月サマースクール
 ・大月っ子学習サロン 他



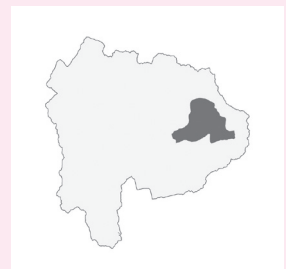
【事業名】 定住促進事業
 【事業費】 2,098 万 5 千円
 【内 容】 新築住宅や中古住宅の取得、新婚世帯・転入子育て世帯の家賃に対して助成をしていき、移住定住促進を進めていく。
 ・新築住宅取得
 助成金最高 120 万円交付
 ・新婚世帯家賃助成
 月 1 万円 最大 24 カ月間 他



【事業名】 消防車両整備事業
 【事業費】 7,900 万 6 千円
 【内 容】 無水利地区や、取水までに時間がかかる地区の消火活動は、放水までの時間を短縮できる水槽付き消防車両が有効なため、現在使用している消防車（入れ替え対象車両）の約 5 倍の 10 トン以上の容積を有する水槽車を整備して、体制を強化していく。



【事業名】 宮谷白山遺跡修繕事業
 【事業費】 143 万 6 千円
 【内 容】 復元住居の維持管理に伴う修繕費用の削減、労力の軽減や史跡の保存面での問題を解決するため、既存住居を撤去して、史跡の劣化・流出を防ぐ工法で遺構を固定する。また、解説看板を設置して文化財への理解を広げていく。



【事業名】 ふるさと納税特産品開発事業
 【事業費】 450 万円
 【内 容】 ふるさと大月応援寄附金の返礼品に魅力ある特産品を数多く登録するため、特産品の開発を助成する。
 ・補助対象経費の 2/3 以内で、限度額は 1 件あたり 30 万円
 ・1 事業者につき年間 1 件を上限 他

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 ● 退席 — ※奥脇 一夫 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩 原 剛	小 原 文 司	山 田 善 一	藤 本 実	山 田 政 文	相 馬 力	鈴 木 基 方	棚 本 晃 行	山 地 渉	鈴 木 康 揮	鈴 木 竜 児	天 野 築	結 果
報告	専決第 1 号	令和 5 年度 大月市一般会計補正予算（第 7 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	第 1 号	大月市手数料条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 2 号	大月市児童館条例制定の件													
	第 3 号	大月市監査委員条例等中改正の件													
	第 4 号	大月市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例中改正の件													
	第 5 号	大月市職員の育児休業等に関する条例中改正の件													
	第 6 号	大月市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正の件													
	第 7 号	大月市介護保険条例中改正の件													
	第 8 号	大月市子ども家庭総合支援センター条例中改正の件													
	第 9 号	大月市総合福祉センター条例中改正の件													
	第 10 号	大月市ひとり親家庭医療費助成に関する条例中改正の件													
	第 11 号	大月市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件													
	第 12 号	大月市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例中改正の件													
	第 13 号	大月市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例中改正の件													
	第 14 号	大月市指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例中改正の件													
	第 15 号	大月市営住宅条例中改正の件													
	第 16 号	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例廃止の件													
	第 17 号	大月勤労者体育センター設置及び管理条例廃止の件													

令和6年3月定例会

賛成○ 反対● 退席― ※奥脇 一夫 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩 原 剛	小 原 文 司	山 田 善 一	藤 本 実	山 田 政 文	相 馬 力	鈴 木 基 方	棚 本 晃 行	山 地 渉	鈴 木 康 揮	鈴 木 竜 児	天 野 築	結 果
当初 予算	第 18 号	令和6年度 大月市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 19 号	令和6年度 大月市大月短期大学特別会計予算													
	第 20 号	令和6年度 大月市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 21 号	令和6年度 大月市介護保険特別会計予算													
	第 22 号	令和6年度 大月市介護サービス特別会計予算													
	第 23 号	令和6年度 大月市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 24 号	令和6年度 大月市簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 25 号	令和6年度 大月市下水道事業会計予算													
補正 予算	第 26 号	令和5年度 大月市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 27 号	令和5年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）													可決
	第 28 号	令和5年度 大月市簡易水道特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 31 号	令和5年度 大月市一般会計補正予算（第9号）													
その他	第 29 号	大月市第8次総合計画基本構想・基本計画を定める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 30 号	山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件													
人事	第 32 号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件													同意
	第 33 号	大月市固定資産評価員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 34 号	大月市恩賜県有財産保護財産区管理会委員の補充選任について同意を求める件													



市政を問う



市議会のページは
コチラから

3月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

- | | |
|---|--------|
| (1) 鈴木基方 議員 (自由民主党) | 9 ページ |
| ①インバウンドの取り込みと大月駅用地の活用策は
②岩殿山説明表示をつくり込んでいく必要がある | |
| (2) 鈴木竜児 議員 (大月の新しい風) | 10 ページ |
| ①新庁舎建設に伴う財源確保と概算整備費の内訳は
②消防団の編成と地域防災力強化について | |
| (3) 天野 築 議員 (大月の新しい風) 関連質問 | 11 ページ |
| ①住宅整備事業の事業費の増加をどのように補填していくのか
②大月市火葬場の整備計画は | |
| (4) 山地 渉 議員 (大月の新しい風) 関連質問 | 12 ページ |
| ①公共施設の利便性の向上を
②災害時の備えに国道 20 号沿いに退避場所を | |
| (5) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) | 13 ページ |
| ①災害発生時の水の確保と整備を
②空き家のさらなる活用促進策を | |

一般質問

- | | |
|---|--------|
| (6) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) | 14 ページ |
| ① TNR 地域猫活動は
②未登記公共用地は | |
| (7) 藤本 実 議員 (日本共産党 所属) | 15 ページ |
| ①耐震化を進める大月市の方策は
②全学年で学校給食費無償化を継続するのに必要な金額は | |

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。
詳しい内容については、会議録（6月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページで閲覧することができます。

※ 現在、インターネット配信を行うための
準備を進めています。
(6月定例会以降の配信を予定)



自由民主党

すずき もとかた
鈴木 基方

Q インバウンドの取り込みと大月駅用地の活用策は

A 関係各所と協議し、実施に向け検討を進める

問 インバウンドの取り込みと、JRが進めている観光協会を通じて大月駅用地の活用策は、大月駅に隣接する本市の用地の一体的活用、市制70周年記念式典事業の企画など、市としての関わり方は。

答 産業建設部長

このたびJR大月駅より、駅からにぎわいを創出し、その輪を広げ活力ある大月にとの提案があり、一般社団法人大月市観光協会にて、大月駅前のスペースを活用して、観光協会会員による出店と販売を計画しております。試行的にキッチンカーでの販売を行っており、今

後はテントなどによる出店も可能なため、その間口を広げ、出店者を増やしていくこととしております。

JR大月駅は、富士山へ向かう観光客にとって乗換駅となっており、駅前での出店によって、まずその多くの観光客に駅構内から外に一步足を踏み出し買物していただくことで会員の販路拡大につながることはもとより、その観光客が大月のまちなかや観光地へと少し足を延ばして訪れていただくことで、大月のまちなかにぎわいにもつながり、最終的には本市の活力になるものと期待をしております。本市といたしまして、その誘客のための仕掛けとして、大月ならではの食の開発を目指していきたいと考えております。

議員ご提案の隣接する本市の用地の活用については、市制70周年イベントとしての活用も含めて、関係各所と協議し、実施に向け、検討を進めてまいりたいと考えております。

Q 岩殿山説明表示をつくり込んでいく必要がある

A 歴史的評価を発信する重要性は高いため必要に応じ更新する

問 岩殿城が武田家直轄の国境警備の城であったと学会で有力視されているが。

岩殿山説明表示を学術研究に裏打ちされた内容を軸に、様々な要素も織り込みつくり込む必要があると考えるが。

答 社会教育課長

岩殿山の歴史的評価につ

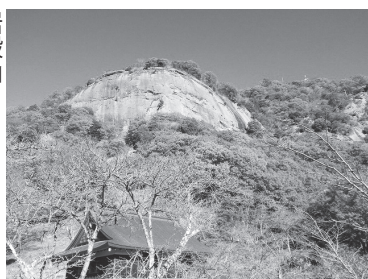
きましては、戦国時代の山城であり、「甲陽軍鑑」や「甲斐国志」の記述により、

歴史家や郷土史研究家の間では、郡内を領有した国衆である小山田氏の詰城とする説が有力であったと認識しております。しかしながら、近年では、武田氏築城

説や武田氏経営説も有力となっております。

戦国大名間の勢力範囲は必ずしも一定ではなかったであろうことを踏まえると、岩殿城の経営主体や役割もまた変化があった可能性が推測され、岩殿城の戦略的重要性の変化から、武田家直轄地であった可能性もあると認識しております。

次に、岩殿山説明表示についてであります。武田氏施政下の一次的な文献資料が乏しいことから、不明な部分が多い状況であります。学術研究に裏打ちをされた内容を軸に、岩殿城跡の歴史的評価を発信する重要性は高いため、必要に応じ発信内容を更新してまいりたいと考えております。



岩殿山



大月の新しい風

すずき 竜児
鈴木 竜児

Q 新庁舎建設に伴う財源確保と概算整備費の内訳は

A 基金・補助金・市債を活用し将来の行財政に影響がないように努める

問

新庁舎建設に伴う概算整備費の内訳と、財源確保についてはどのような考えか。支払い計画と将来の財政への影響について伺う。

答 市長

現時点における概算整備費の内訳及び事業スケジュールに応じた支払い計画については、令和6年度から8年度に用地買収費として6億円、令和8年度から9

年度に調査・設計費として1億8,000万円、令和10年度から11年度に建設工事費として26億2,000万円、什器・備品等の導入費及び移転費として4,000万円、総額34億4,000万円を見込んでおります。

庁舎建設には多額な支出が見込まれることから、公共施設整備基金、豊かな森づくり基金、財政調整基金などの活用やZEB化による補助金、木造・木質化に対する補助金などについて検討を行うとともに、市債を活用し支出の平準化を図り、数年後、数十年後の行財政運営に影響がないよう努めてまいります。



大月市役所庁舎

Q 消防団の編成と地域防災力強化について

A 自助、共助、公助の力を市民の皆様とともに高めていきたい

問

消防団の再編、統合等と、地域防災力強化の方向性は。

答 総務部長

消防団の再編につきましては、平成16年の組織改革から19年が経過し、人口減少や高齢化に伴い、団員数も減少傾向が続き、定数を維持することが困難となってきました。また、昼

間に出動できる団員が激減し、隊の編成に支障が出ていることから、部の再編は急務となっております。消防団を将来にわたり維持し、活動しやすい体制づくりを構築するため、令和5年10月の正副分団長会議で、部再編及び定数について、消防本部から各分団に

対し再編案を提示しております。令和6年度に開催する正副分団長会議で、各分団からの回答や意見を基に再編に向けて進めてまいります。

年々、地域防災の中心である消防団員が減少しておりますが、地域には多くの経験や知恵を有した方、各種資格を有している方、重機や資機材などを所有している方などがいることから、このような方々と力を合わせ、地域を守っていただくことが重要であると考えております。

また、行政の役割としては、公共施設の耐震化や急傾斜地などの対策工事といったハード事業と、自主防災会と地区代表者の合同防災会議、出前講座、地域防災リーダー養成講習会の開催といったソフト事業を進め、自助、共助、公助の力を市民の皆様とともに高めてまいりたいと考えております。



大月の新しい風

あまの きずく
天野 築

Q 大月市火葬場の整備計画は

A 最小限の支出を念頭に修繕計画を策定している

再質問

Q 住宅整備事業の事業費の増加をどのように補填していくのか

A 入居者が確保できれば回収できる見込み

問

本年2月に完成した市営住宅駒橋団地とエルムーン駒橋の事業費が契約時の金額よりも増加している。この増加した事業費をどのように補填していくのか。

答 建設課長

エルムーン駒橋の整備費用は、事業期間が満了する令和35年度末までの家賃などの賃貸収入で回収することを基本に事業をスタートしております。今回の増額に伴い、その採算ラインは上昇しておりますが、入居

問 入居率を上げるための具体的な取り組みは

答 建設課長

エルムーン駒橋につきましては、PFI事業者が専用サイトを構築し、各部屋の紹介や問合せ受付などを行っており、また住宅情報サイトへの掲載や新聞折り込み、大月市、都留市、上野原市の事業者へのダイレクトメール、JR大月駅及び富士急行線主要駅のポスター掲示、各種イベントなどでのチラシ配布などによりPRしてきているところがあります。

問 大月市火葬場は施設全体がかなり老朽化しているが、現在どのような整備計画となっているのか伺う。

答 市民課長

現在の火葬場施設は昭和55年度に建設され、現在、最小限の支出を念頭に令和3年度から令和11年度までの修繕計画を策定し、維持管理しております。火葬炉を主体とする高温度になる設備につきましては、ブロック積み替え等を2年ごとに行い、施設利用に支障が生じないように努めております。また、それ以外の管理

については定期保守点検を実施し、交換時期を確認しております。老朽化した施設については、今後も建て替えや広域的な共同運用など、検討、協議してまいります。



大月市火葬場



大月の新しい風

やまじ わたる
山地 渉

Q 公共施設の利便性の向上を

A 引き続き利用者のニーズをとらえて対応してゆきたい

公共施設は、よりたくさんの方に利用していただき、市民の生きがい創造と健康の増進のためである。11月29日に出させていただいた公共施設利用に関する利便性の向上についての要望書の中で、対応済み、検討中、利用者に利便性の向上と

答 社会教育課長

して考えている新たな方法があれば伺う。

テニスコートの鍵の貸出し及び返却は、専用キーボックスを設置して対応することとなります。

必要性、効果等を勘案し検討いたします。市民会館の冷暖房費の案分は、検討し調整中でありますので冷房使用時までには結論を出す予定であります。展示用パネルの修繕につきましては、令和6年度に対応する予定としております。

どの施設においても緊急性や危険性が伴うものにつきましては、即時現況を確認し、早急に対応するよう心がけております。引き続き利用者のニーズをどう正確、迅速に捉えていくか。例えば施設に意見箱を設置する、利用者から施設で直接アンケートを取るなど検討しながら、利便性向上に向けて対応してまいりたいと考えております。

答 産業建設部長

重要な幹線道路である国道20号新笹子トンネルの完成に向け、国土交通省と様々な協議を行いながら事業を推進しております。建設発生土の処分につきましては、幾つかの候補地から蛇骨沢を処分地とすることが平成29年に決定され、受入れ地としての現地調査を経て盛土計画を検討しており、関係法令に準拠した安全対策が図られることとなっております。

問

大月の道路事情は、とにかく道が狭い。急傾斜地で崩落危険箇所が多い。せめて退避場所となる平地の確保は必要だと考える。今、国道20号では新笹子トンネル改修工事が行われており、この掘削残土30万立米を利用して退避場所など道路と同じ高さの平地を確保する予定はあるか。

新笹子トンネル工事



その他の質問

問 歴史文化芸能活動と発信の拠点はないか

問 倒木と土砂崩れ対策は

問



山と川の街大月

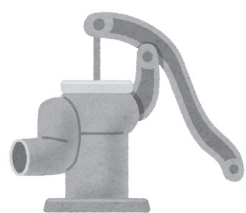
たなもと 棚本 あきゆき 晃行

Q 災害発生時の水の確保と整備を

A 井戸の登録制度や雨水の活用など水の確保について幅広く検討していく

は、災害時において重要課題の一つであると認識しており、これまで水道管の耐震化や耐震性貯水槽の整備などを進めるとともに、自治体間の応援協定に基づく緊急調達など速やかな応急給水が実施できるよう体制を整備してきております。

昨年5月には桂川漁業協同組合様と井戸活用の協定を締結させていただき、地域住民の生活用水の確保に努めてきております。今後は、さらなる生活用水の確保策として、井戸を所有している方に協力を求め、災害時に井戸の活用が可能となる登録制度などについて検討したいと考えております。議員ご提案のとおり、今後は地下水の確保だけでなく、耐震性貯水槽や雨水の活用など水の確保について幅広く検討してまいります。



空き家の活用については、空き家バンク登録推進奨励金制度などを設けてきましたが、さらなる空き家の活用が必要ですので、改修や取り壊しなどがスムーズに行えるような情報提供を積極的に発信し、空き家バンクの登録促進を図ってまいります。

答 市民生活部長

Q 空き家のさらなる活用促進策を

A 令和7年度以降の助成制度など制度設計の検討を進めていく

一定の条件を定めただ上、建物の解体費用の補助や、改修工事に対する補助制度の拡充など、空き家の除却や活用、土地活用を促す取組を一体的に行い、空き家の活用促進策をさらに進めていくべきと考えるが、市の見解を伺う。

また、さらなる改修費用や空き家の除去などに補助制度を設けるには、その後に居住していただくなど一定条件を付する制度設計が必要であると考えます。現在の定住促進制度が令和6年度末までの制度となっており、令和7年度以降の助成制度をどのようにしていくかを検討する時期となっております。市内の有効な資産である空き家を活用し、本市に住みたいとの思いがある方々を迎えるにふさわしい制度設計となるよう検討を進めてまいります。

その他の質問

問 ICT教育の課題と成果、今後の取り組みは

問 初狩地区子育て応援施設整備事業について

問 森林環境譲与税を活用した林道整備を

問

災害発生時の生活用水不足が懸念される。今後の災害に備え、井戸の調査を行い、災害時に活用可能な井戸を登録し、公表する制度整備や防災井戸の整備にも取り組むべきではないか。また、耐震性貯水槽や雨水の活用な

答 市長

飲料水や生活用水の確保



すずき こうき
鈴木 康揮

公明党 所属

Q TNR地域猫活動は

A さくらねこ無料不妊手術
事業の助成を受け、本市
も協力して行っている

問

TNR地域猫活動事業の無料不妊手術チケットで手術の費用を賄うことができた。
野良猫についての相談件数や内容、チケット申請を受けられなかった事はあるか。また、市民への周知方法、チケットの受付期間は、

答 市民課長

相談件数は、令和元年度6件、2年度4件、3年度ゼロ件、4年度5件、5年度6件となっております。鳴き声がうるさい、家の周りに猫が居着いて困るなどがあります。
TNR地域猫活動は、公益財団法人どうぶつ基金が

行う、さくらねこ無料不妊手術事業の助成を受け、地域住民やボランティア団体、本市が協力している事業です。この手術のチケット申請は本市が窓口となっており、今まで受付ができなかった事例はありません。
TNR活動の市民への周知について現在ホームページや広報「おおつき」において、事業内容について周知を行っており、本市で行っている補助事業とTNR活動について案内し、状況によりお選びいただいております。このTNR活動は、ボランティア団体等にとつて、自治会等の理解が必要不可欠であり、団体等が主体となつて作成したチラシを配布しております。
不妊手術の受付期間については、山梨県の補助金を活用しており、単年度の事業となつておりますので、令和5年度は終了しておりますが、公益財団法人どうぶつ基金のチケット申請によるTNR活動は1年を通じて受付を行っております。

TNR活動とは？



TNRとは、飼い主のいない猫に対し、「Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す」を実施することで繁殖を防ぎ、地域の猫として1代限りの命を全うさせ、野良猫に関わる苦情や殺処分を減少を目指す活動です。

Q 未登記公共用地は

A 相続登記の義務化で登記が進んでいくことが期待される

問

未登記の道路及び道路以外の件数と状況は。また、相続での相談や課題は。

答 産業建設部長

いわゆる未登記公衆用道路敷地は、現時点でおおむね5,000筆あることが確認されており、市内各地の路線において存在している現状にあります。

未登記公衆用道路敷地も含め相続ができていない公共用地につきましては、権利者や相続人を確定し、その全員と交渉を行い、所有権移転の了解を得る必要があるため、それらが課題であると考えておりますが、不動産登記法の一部改正により、令和6年4月1日から相続登記の義務化が施行されますので、その浸透が図られ、相続登記が進んでいくことが期待されております。





ふじもと みのる
藤本 実

日本共産党 所属

Q 耐震化を進める大月市の 方策は

A 木造住宅の耐震改修補助 を拡充する

問 能登半島地震は、自分の住んでいる家を強くししないと、大地震が起ったときに命に危険が及んだり、生活ができなくなったりすることを見せつけた。耐震化を進めるための市の方策は。

答 総務部長

本市では、旧耐震基準で建築された木造個人住宅の無料の耐震診断支援を平成15年度から実施しており、平成23年度から令和2年度にかけては、耐震診断未実施の2,887戸の住宅所有者を戸別訪問し、耐震診断実施の呼びかけを行います。

した。これまでに411戸の耐震診断を行った結果、396戸に耐震性がないと判定され、そのうち耐震改修や建て替えに至った件数は13件となっております。

本年2月号の広報「おおつき」で、再度、木造個人住宅の耐震化に対する支援事業をご案内したところ、2月早々には8件の耐震診断事業の申込みや問合せがあり、能登半島地震の被災状況を見て危機感を持たれた方が増えておりますが、耐震改修に高額な経費が必要なこと、家の後継ぎがないことなどは、耐震改修に踏み出すことができない要因となっていると引き続き考えております。

山梨県では木造住宅の耐震改修補助の拡充を明らかにしており、本市においても県制度に対応する形で最大125万円の補助金が交付できるよう、令和6年度予算において増額計上しております。



木造住宅倒壊（能登半島地震）

Q 全学年で学校給食費無償化を継続するのに必要な金額は

A 一般会計の約0、41%、5、092万円

問 予算の規模感が分かりにくいので、改めて小中学校全学年で学校給食費無償化を継続した場合の費用について伺う。

答 教育次長

学校給食費の金額につきましては、食材費として小学校児童分は1食当たり2

91円、年間1人当たり5万6、745円、児童数が620人で、計3、518万1、900円、中学校生徒分は1食当たり330円、年間1人当たり6万4、350円、生徒数が415人で、計2、670万5、250円となり、合計で6、188万7、150円であります。このうち、価格高騰している食材費の約10%分につきましては本市が負担しておりますので、保護者の方が負担している学校給食費は、合計で5、631万6、000円であります。既に就学援助等により実質学校給食費無償となっておりますのは、合計で538万8、825円となります。保護者の方が負担している学校給食費から就学援助等を差し引くと5、092万7、175円となり、これは一般会計予算総額の約0、41%に当たります。

議会日誌

2月（後半）

19日	議会運営委員会
20日	議員定例懇談会
22日	令和6年度第1回山梨県後期高齢者医療広域連合議会
26日	全員協議会
	令和6年第1回（3月）市議会定例会 開会
	予算審査特別委員会
27日	東部地域広域水道企業団議会

3月

6日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
7日	社会文教常任委員会
12日	議会運営委員会
	全員協議会
	代表質問・一般質問
14日	予算審査特別委員会
15日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
	会派代表者会議
21日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和6年第1回（3月）市議会定例会 閉会

4月

17日	第271回山梨県市議会議長会定期総会
23日	市議会広報委員会
25日	第90回関東市議会議長会定期総会

○表紙の写真

「元気に大きくなれ！」

4月15日 桂川漁業協同組合

※ 鮎釣り 6月1日解禁！

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様に親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見を議会事務局までお寄せ下さい。

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



市議会
広報委員会

委員長	藤本 実
副委員長	鈴木 基方
委員	山田 善一
委員	山地 渉
委員	鈴木 康揮
委員	天野 築

あなたも
本会議を傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

※感染症拡大等の状況により自粛をお願いする場合があります。

6月定例会の日程（予定）

●開会日	5月23日
●代表質問	6月6日
●一般質問	〃
●一般質問（予備日）	6月7日
●閉会日	6月13日

※ 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

3月議会において予算審査特別委員会が行われ、令和6年度予算が決まりました。そのうちの新庁舎建設事業については、策定された基本計画をもとに早期完成を目指すビックプロジェクトです。市庁舎は行政手続きの窓口機能だけでなく、災害時の防災拠点としての機能もあります。市民の安心・安全と市民サービスの向上が図れる市庁舎となるように、慎重に審議を重ねていきたいと思えます。

（担当：天野 築）

Editorial note



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。